

# CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 13 No.21 2011年11月15日号

編集:[editor@cnar.jp](mailto:editor@cnar.jp) 広告:[pr@cnar.jp](mailto:pr@cnar.jp) 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2011 CNA Report Japan. All rights reserved.

## 製品・サービス動向-国内

アバー・インフォメーション、2010年にテレビ会議事業へ参入しHD対応機発売、2011年10月に機能強化した新製品を発表

アバー・インフォメーション株式会社(東京都千代田区)は、日本でのテレビ会議事業を加速している。(11月10日)



HVC330(アバー・インフォメーション資料)

同社は、台湾メーカー アバー・インフォメーション社の日本法人。アバー・インフォメーション社は、1990年に台湾・台北に設立。以後、書画カメラ等プレゼンテーション、監視カメラ、ネットワークレコーダーなどで世界的に事業を展開する。拠点は、台湾本社の他、日本、アメリカ、イギリス、スペイン、オランダ、フランス、ドイツ、ロシア、中国、タイ、ベトナムの12か国に展開し、世界60か国を超える国々へ製品を提供している。

同社では、毎年、収益の10%を超える予算を研究・開発への投資に充てており、全世界689名の社員のうち3人に1人が研究・開発に携わる。売上高は、2009年度グループ連結で148億円。

アバー・インフォメーション社は、2010年終わり頃にテレビ会議事業に参入した。以後世界各国の拠点などを通して全

世界にテレビ会議システムを販売している。

当社は光学やネットワーク、圧縮技術などに強みを持ち、これらの技術を応用した付加価値のある製品としてテレビ会議システムの開発を始めた。日本でも今後テレビ会議製品の販売を展開していく予定。

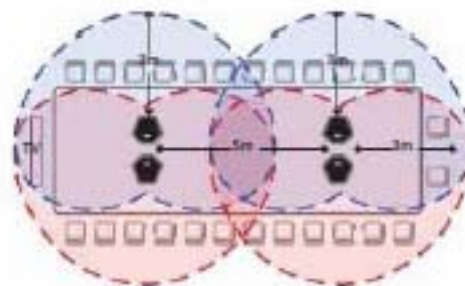
同社が2010年の参入以後販売してきた製品は、「AverComm H100」と「AverComm H300」の2機種。他社の同様なテレビ会議システムと比べ、同社のテレビ会議システムの強みは、50万円の価格を切る安さながら、720p HD、4地点対応内蔵MCU、データ共有(書画カメラやPCなどを接続)、デュアルモニター、レコーディング(H300のみ)の機能を標準装備していること。

また2011年11月には、機能を強化した新しい製品「HVC 330」を投入。製品ラインナップを強化している。

HVC 330の機能強化は以下の通り。

(1)PC資料のワイヤレスコンテンツ共有:PCデスクトップ上のファイルを、WiFiを通じてHVC300に転送し、そのファイルを、テレビ会議を行っている相手と共有することができる。VGA端子を通してPCとつなぐ方法も可能。

(2)デジチェーンマイク:テレビ会議用のマイクを4個まで数珠繋ぎで接続しより大きな会議室にも対応する。



4個のマイクをデジチェーンした場合のイメージ(アバー・インフォメーション資料)

(3)モバイル画像(スナップショット)共有:VCLinkでテレ

ビデオ会議システムとワイヤレス接続することで、iPad2、iPhone、Android 搭載のスマートフォンやタブレット内蔵カメラで撮影した画像やスナップショット画像をテレビ会議で相手と共有することができる。またスマートフォンやタブレットを HVC330 のリモートコントローラーとしても使える。

(4) インテリジェントマネジメント: AVer ウェブツールによってリモートでカメラやコーデックに接続し、設定やトラブルシューティングが行える。

(5) ワンタッチ録画: 相手の顔が映っている画面と資料を共有している画面をすべてリモコンのワンタッチボタン一押しで録画の開始と終了が行える。録画するためには、HVC330 本体の USB ポートに USB メモリーなどを接続する。また、テレビ会議を録画するだけでなく、HVC330 のカメラ(500 万画素 PTZ)を使ったスナップショット画像を記録することも可能だ。

一方、再生については、HVC330 本体、または PC で行える。再生には、同社開発の再生用ソフトウェアか、もしくは、.mov ファイル変換により対応ソフトウェアでの再生も可能だ。

(6) AV 機器との統合: RS-232C ポートを介して AV 機器とのインテグレーションが行える。たとえば、ディスプレイや照明

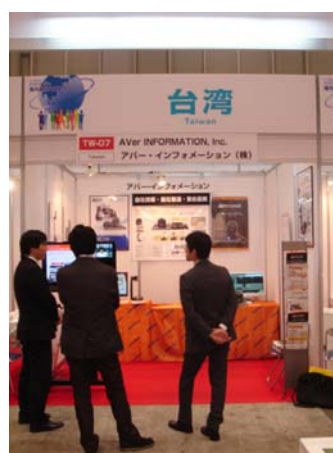
などと共通のコントローラーシステムを構築することができる。

今後は、取扱い販売会社を増やししながら日本においても同社のテレビ会議システムの販売を拡大させていきたい考え。その一環として、教育分野で実績のある書画カメラとテレビ会議システムを組み合わせたパ

ッケージを積極的に提案していく予定という。写真の書画カメラは、「AVerVision AV-355AF」、この他、「AVerVision F30」、「AVerVision AV-SPB350+」も提供している。



日経 BP 主催「ITpro EXPO 2011」(2011 年 10 月)



独立行政法人 中小企業基盤整備機構主催  
中小企業総合展 2011 (2011 年 11 月)



同中小企業総合展アバー・インフォメーション ブース

(次ページへ続く)

## ニューロネット、スマートフォン版 Web 会議システムの提供開始を発表

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)は、スマートフォン版 Web 会議システム「SaaSBoard/SP」を発表した。提供開始は、11月1日から。(10月17日)



写真(上) iPad の映像表示状態 (ニューロネット資料、以下同)

写真(中) iPad の画面共有表示状態



写真(下) iPad の Web ボード表示状態



スマートフォン版に対応することで iPhone、iPad の他、GalaxySII などの Android 端末から SaaSBoard の Web 会議に参加することが可能になる。ユーザは、スマートフォン用の SaaSBoard/SP プログラムをダウンロードし、現在利用している SaaSBoard のサイトにアクセスすれば利用できる。現在のビジネスユーザは、当面無料で提供するとしている。申込は同社サイトから。

ニューロネットでは、これまでスマートフォン版 Web 会議を SaaSBoard の無料試用や特定ユーザ向けに限定提供していたが、スマートフォン人気の高まりを受けて、SaaSBoard をスマートフォンで使用したいという問い合わせが増加してきたと

いう。加えて、震災以降より手軽に Web 会議を行いたいという問い合わせも増えているという。こういった声を受けて、今回 SaaSBoard/SP として正式提供に踏み切った。

ニューロネットによると、SaaSBoard は、ビジネス向け BtoB を中心に展開されている Web 会議であるが、今後、学生や広く一般に向けた BtoC 市場向けのコミュニケーションプラットフォームとして販売を展開していく考えだ。

## ルーシッドの無料電話会議サービス、サービス提供地域にフランスを追加

ルーシッド株式会社(東京都渋谷区)は、同社の無料電話会議サービス「BizSpeak」のサービス提供地域にフランスを追加したと発表。(10月12日)

今回、BizSpeak では、すでに提供していたイギリス、イタリア、スペイン、ドイツに加えフランスのアクセス番号を提供開始する。これにより、これら 5 カ国に拠点・取引先をもつ日本企業や日本に支店を持つ外資企業が、1,575 円で 30 日間、何度でも日本との電話会議にアクセスして、国内通話料のみで利用することができるようになる。

30 日プランでは 1,575 円だが、3 ヶ月プランでは 4,725 円、12 ヶ月プランでは 15,750 円。それぞれ 1 ID 毎に課金される。サービス料金は前払い方式。利用にあたっては、BizSpeak 会議 ID と国際サービスへの申込が必要。

## ビジネス動向-国内

### メディアプラス、デジタルワイヤレスマイクの Revolabs 社と販売代理店契約を締結

株式会社メディアプラス(東京都千代田区)は、米 Revolabs 社の日本における輸入販売代理店業務を開始すると発表。(11月2日)

Revolabs 社は、2005 年に設立。デジタルワイヤレスマイクに特化した製品を販売。マサチューセッツ州に本社がある。

同社のワイヤレスマイクは、企業の研修室やテレビ会議室、イベントホール、学校の視聴覚室、放送などさまざまな音響用途に使用可能。



セキュリティの観点から会議にワイヤレスマイクを使用することをあきらめていた企業やワイヤレスマイクをもっと同時に多数使用したいという要望を持つユーザに最適な製品とメディアプラスでは説明する。

Rovolabs 社のフラッグシップ製品は、「Executive HD 4ch/8ch」。4 台のレーザーユニットをカスケード接続することで最大 32ch の同時使用が可能なデジタルワイヤレスマイク。従来の A 帯/B 帯もしくは 2.4GHz 帯を使用したワイヤレスマイクとは異なる 1.9GHz 帯を使用するため使用申請の必要や混信の危険もないという。また 128bit 暗号化通信に対応することでセキュリティと高音質を両立しているとする。



デジタルワイヤレスマイクシステム Executive HD(写真は 8ch 用)(メディアプラス 資料)

マイクについては、タイピン型、ハンドマイク用アダプター、カントリーマンマイク用アダプター、バウンダリー型(指向性、無指向性)を用意している。



5 種類のマイク・マイクアダプタ(別売り)(メディアプラス 資料)

Executive HD は、レーザーとマイク充電器セット。参考価格については、4ch モデルで 451,000 円(税抜き、以下同)、8ch モデルが 572,000 円。

また、各モデルで共通して仕様できるマイク・マイク用アダプターの参考価格は、38,500 円。これは、一般的に放送用として使用されている A 帯/B 帯デジタルワイヤレスマイクに対して、チャンネル単価はおよそ 1/8 と低価格を実現しているという。

Executive HD の日本の販売開始は、2012 年 1 月を予定しているが、予約注文については、11 月 16 日より開始される Inter BEE 国際放送機器展での展示を皮切りに開始するという。メディアプラスは、年間 1,000 チャンネルの販売を見込んでいる。また販売代理店も募集している。

### ニューロネット、「東京都トライアル発注制度認定」授与

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)の Web 会議システム「SaaSBoard」は、「東京都トライアル発注制度認定(新事業分野開拓者認定)」を東京都より授与されたと発表。(10 月 11 日)

東京都トライアル発注制度認定とは、東京都が、中小企業の新規性の高い優れた新商品の普及を応援するため、都が新商品を認定して PR 等を行うとともに、その一部を試験的に購入し評価をするもの。

第三回目となる今回の募集には、142 件の応募があり、外部専門家等による審査会を経て、このたび 26 商品が認定され、そのなかで SaaSBoard はソフトウェア部門において優れた商品として認定された。ニューロネットは、東京都認定事業者として認定書の交付を受けた。

### ビジネス動向-海外

#### Compunetix 社、ロシア EMAG Group と提携

米 Compunetix 社は、ロシアの EMAG Group 社と販売代理店契約を締結したと発表。(9 月 28 日)

EMAG Group 社は、1995 年設立。テレビ会議システムを含む通信機器やネットワーク装置、電気製品などのロシア・独立国家共同体(CIS)地域における販売を行うロシア企業。

今回の契約で、EMAG Group 社では、Compunetix 社の「VSD EVERGREEN」ビデオ会議用 MCU を販売することになった。

Compunetix 社の多地点会議システムは、28 カ国に 100 万ポート以上導入されている。日本では、株式会社日立ハイテクノロジーズ(東京都港区)が VSD EVERGREEN の総販売代理店となっている。

## Avaya 社、UC セキュリティ強化の一環で Siperia 社を買収

米 Avaya 社は、米 Siperia 社を買収すると発表。Avaya 社の一事業部門として統合される。(10 月 3 日)

Siperia 社は、セッションボーダーコントロール(SBC)や UC セキュリティアプリケーションの領域に強みを持った UC ソリューションプロバイダー。同社ソリューションは、Avaya ソリューションだけでなくその他のソリューションとも連携することが可能だ。アプリケーション層のセキュリティを提供している。

「Avaya Aura」と統合することで、VoIP、SIP トランク、テレビ会議、クラウドベースコミュニケーション、インスタントメッセージングなどのコラボレーションツールをよりセキュアな環境で活用できるようになる。

## セミナーレポート-国内

### VTV ジャパン、東京と大阪をテレビ会議で結び「VTV ジャパン ビジュアルコミュニケーションフォーラム」を開催

VTV ジャパン株式会社(東京都千代田区)は、10 月 21 日都内 TEPIA において、「VTV ジャパン ビジュアルコミュニケーションフォーラム」を開催。東京会場と大阪会場をテレビ会議システムで結んでの 2 元中継を行った。協賛は、**株式会社インターネットイニシアティブ**。

今回のフォーラムでは、テレビ会議を導入していく上で、ユーザが考慮すべきポイントとそれに対して VTV ジャパンがどのようなソリューションを提供しようとしているのかをテーマに、単なる製品紹介とは違った、経営とテレビ会議との接点、ユ

ーザの利用環境や利便性の面、さらには、システム運用・マネージメントの面にフォーカスして、セミナーセッションと製品展示・実演を行った。

「既存のシステムやサービスでは対応に限界が出てくると感じ、より気軽に利用しやすいテレビ会議環境を提供すべく、その足がかりとして行った製品開発やサポートサービスを今回皆様にご紹介した。」(VTV ジャパン)

セミナーにおいては、日本大学商学部・大学院商学研究科 児玉充教授の基調講演と、それに続いて VTV ジャパンの社員による講演が行われた。

児玉充教授は、『ビジュアルコミュニケーションによる知識コミュニティの創造』と題して講演。さまざまな業種間において垣根を越えた知識の融合が新たなビジネスモデルを生み出し、創造的な新技術や新製品を生み出す強力な推進力となると経営学の知見を披露。テレビ会議開発の経験も持つ児玉氏は、企業がそういったイノベーションを起こしていく上で、テレビ会議によるコラボレーションが鍵を握ると力説した。

一方、VTV ジャパン社員による発表では、まず同社西日本統括マネージャーの坂本 修次 氏が大阪会場からテレビ会議で講演。従来のテレビ会議は、専用端末と PC がメインだったが、昨今のタブレットやスマートフォンの広がりや、テレビ会議におけるマルチデバイス化の動きを加速していると指摘。スマートフォンとタブレットの利用用途は未知数ではあるが、今まで想定できなかった状況での接続機会が増加するとともに、会議室や打合せスペース、既設インフラや電源等から解放されるメリットがあるとマルチデバイス化へ期待を見せる。隣接された展示会場では iPad と PC、専用端末を同時接続したデモを実施していた。

次に取締役 技術部統括 田村 隆文 氏。田村氏の講演では、ユーザの利用環境に焦点をあて、VTV ジャパンが最近開発した、テレビ会議の利便性を高めるオリジナル製品を紹介。テレビ会議端末操作タブレット「EazyTouch」とテレビ会議の臨場感や議事進行、管理機能を実現する点に特長のある「Live VC Navi」。テレビ会議は、実際に使う現

場のユーザにとって、効率よく、使いやすいツールであることが重要。そのためには各ユーザ企業独自の機能を具備しカスタマイズすることもある。VTV ジャパンでは、今後リアルミーティングとテレビ会議とのギャップを埋めるソリューションを提供していく意向。



写真(左) 東京会場 (VTV ジャパン 資料)

写真(下) 海外との接続デモ (VTV ジャパン 資料)

続いて、海外導入支援プログラムについて、営業部の日比野 公一 氏からの発表。冒頭、日本企業の海外進出状況に



ついでに JETRO データを紹介。アジアを中心に日本企業の海外ビジネスが拡大していると説明。そういったことを反映して、海外も含めた導入のニーズが高まっているという。VTV ジャパンでは、海外パートナーと提携して包括的な海外導入支援プログラムを提供している。今までのところ、海外パートナーとの連携により、日本を除く 25 カ国に約 100 台の導入実績があるという。この講演では、某独立行政法人や機械部品製造会社の事例を紹介するとともに、香港・上海・マレーシア・タイのパートナーをテレビ会議で同時に接続し、各社の紹介とともにそれぞれの国の通信事情なども各パートナーが現地から説明した。



展示コーナー (VTV ジャパン 資料)

セミナーの最後では、営業部の大久保 忠明 氏が、同社が提供するテレビ会議トータルサポートサービス「VTV Care」を紹介。この VTV Care は、テレビ会議を利用していく上での技術面でのトラブルシューティングから、ユーザが抱える運用面での課題まで VTV ジャパンで解決できることはサポートしていくというのがこのサービスの趣旨。システムサポートから会議運用代行、ユーザーマニュアル作成、トレーニング、使い方の提案など導入したテレビ会議をより使いこなすためのさまざまな提案が行えるとしている。

一方、展示コーナーでは、株式会社インターネットイニシアティブの「IIJ SMF sx サービス」、「IIJ モバイルサービス」、「IIJ Smart Mobile Manager サービス」の展示や、VTV ジャパンで提供している、Live VC Navi、Eazy Touch を展示・デモ。また、端末製品としては、ポリコム、ソニー、ラドビジョン専用端末、PC 会議ソリューションとしては、「Vidyo Desktop」、「Fresh Voice」、さらに、タブレットやスマートフォンでは、「Vidyo Mobile」、「Scopia Mobile」、「Vidyo Desktop」、「Scopia Desktop」などネットワークサービスから各種端末まで幅広く紹介した。

## セミナー・展示会情報

### <国内>

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』  
定期開催

日程:11月16日(水)、30日(水)

※全ての日程で13:30~14:30、15:30~16:30の2回開催

会場:NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社NEC情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformmeeting/seminar.html>

Polycom Vision 2011 進化している「伝える力」  
導入企業が語るポリコムの次世代型コミュニケーション 伸びる会社はここが違う

日時:11月15日(火) 10:00~17:40 (受付:9:30~)

会場:東京コンファレンスセンター・品川

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.eventreg.jp/polycom2011/index.html>

大阪開催 【Web会議のプロが直伝】Web会議運用の思  
わぬトラブルとその解決策

日時:11月16日(水) 15:00~17:00

会場:キャノンソフト情報システム 大阪本社(大阪市中央区)

主催:キャノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1286>

Cisco Plus Japan 2011

日時:11月17日(木)~18日(金)

会場:セルリアンタワー東急ホテル

主催:シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:<http://www.cmarket.jp/ciscoplus/>

\*テレプレゼンス、コラボレーション関連のセッションもあり。

【Web会議のプロが直伝】Web会議運用の思わぬトラブル  
とその解決策

日時:11月22日(火) 15:00~17:00

会場:キャノンソフト情報システム 東京支社(東京都豊島区)

主催:キャノンソフト情報システム株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-js.co.jp/seminar/detail.cfm?no=1287>

『映像コミュニケーションツールを初めて使うユーザーが体  
験したつまずき』~ユーザーの行動観察、インタビューからわ  
かったこと~

日時:12月1日(木) 18:00~20:00

会場:都内セミナールーム(東京駅近く)

主催:株式会社ヒューマンインタフェース

詳細・申込:

<http://usability-humaninterface.blogspot.com/2011/11/5.html>

『ビデオ会議システム 円滑運用のノウハウご紹介』セミナ  
ー~複数メーカー新旧混在、異機種間接続を実現して既存シス  
テムを有効活用~ 東西同時開催

日時:12月7日(木)14:30~17:25 (受付開始14:00)

会場:パナソニック電気インフォメーションシステムズ 東京/大阪

主催:パナソニック電気インフォメーションシステムズ株式会社

共催:パナソニック システムソリューションズ ジャパン株式会社

シスコシステムズ合同会社

(東京)詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/183>

(大阪)詳細・申込:

<https://event.panasonic-denkois.co.jp/public/seminar/view/181>

ワークスタイル変革セミナー「グローバル企業における経  
営企画・経理財務部門の役割~コラボレーションプラットフ  
ォームによるワークスタイル変革~」

日時:12月7日(水) 14:30~16:30

会場:東京 iDeep ソリューションズ本社(東京都港区)

主催:iDeep ソリューションズ株式会社

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社

詳細・申込:<http://ideep.com/seminar/index.html>

ワークスタイル変革セミナー「グローバル企業における経  
営企画・経理財務部門の役割~コラボレーションプラットフ  
ォームによるワークスタイル変革~」

日時:12月9日(金) 14:30~16:30

会場:シャープ本社ビル(大阪市阿倍野区)

主催:iDeep ソリューションズ株式会社

デロイト トーマツ コンサルティング株式会社

詳細・申込:<http://ideep.com/seminar/index.html>

新しい経営スタイル=時代はスマートフォンへ!

Web会議 SaasBoard/SP のビジネス応用

スマートフォンが切り開く新しい経営スタイル

日時:12月9日(金)13:30~17:00

会場:渋谷区商工会館(東京都渋谷区)

主催:ニューロネット株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/eventSeminar.html>

## 編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございます。

本日は、1日ポリコムセミナーに参加しますので、定期レポート  
は朝の発行となりました。

今年も早いもので11月。定期レポートは第21号。12月末の  
発行は例年お休みですので、今年の発行は、残り2回となりまし  
た。気合いを入れて頑張ります。

次号もよろしくお願ひ致します。

橋本 啓介